
美しい海を取り戻せ！パプアニューギニアの水インフラ事業

(株)日立製作所
水・環境ビジネスユニット

平田 寿文

パプアニューギニアにはどんなイメージをお持ちですか？

パプアニューギニアはオーストラリア北部のニューギニア島の東側に位置し、インドネシアと陸続きの国です。サンゴ礁がきれいで、北部の太平洋側はダイバーたちの最後の聖地と言われています。おそらく多くの方は暖かい気候で美しい海が広がっている国、というイメージをお持ちなのではないでしょうか？



海洋汚染問題は深刻で、地域住民の生活環境も悪化

しかし、実際はパプアニューギニアは海洋汚染の問題が深刻です。沿岸水域のサンゴ礁は死滅し、引き潮時にはヘドロが堆積しており、地域住民の生活環境も悪化していきました。



河川には空き缶とペットボトルが

写真は、プロジェクト開始当時、私が現地入りしたときのものです。
河川には生活水準の向上にともない、大量の空き缶やペットボトルが川に投げ捨てられていました。



下水が地表を流れている

民家からは生活排水がそのまま捨てられ、下水が地表を流れているという環境でした。



沿岸部で水系疾患率が極めて高い

沿岸部に下水処理場は無く、汚水は未処理のままラグーンへ放流されていました。
沿岸部には、おもに漁業を産業とする水上生活者の居住区がありますが、ここで水系疾患（下痢など）の罹患率が極めて高いという状況でした。（ラグーンとは、砂溜まりやサンゴ礁により隔てられた水深の浅い水域）



MISSION-美しい海を取り戻せ！

そこで、パプアニューギニア政府は抜本的解決をめざし日本に支援を要請し、国際協力機構（JICA）の「ポートモレスビー下水道整備事業」となったのです。

今回、ここで2015年から2019年までの約5年間にわたりプロジェクトを遂行しました。

「下水処理場を建設して美しい海を取り戻す」というプロジェクトでどのように実践したのかを紹介します。



MISSION—優れた自主技術・製品の開発を通じて、社会へ貢献する

HITACHI
Inspire the Next

高品質な水インフラの提供により美しい海を取り戻す社会貢献です。
下水処理場を整備することで、海の生態系がかつての豊漁期の水準まで戻り、漁業が復活します。
水系疾患の罹患率が現在の21.7%から内陸部の5%まで下がるのが期待され住民の健康が促進されます。
健康が促進されることで、住民の高額な医療費を抑制することが出来ます。
下水を処理することで、持続可能な都市へ発展させる社会貢献を実現しました。



建設前



我々は、建設作業員全員で近隣の清掃奉仕活動を実施しました。すると、最初は「下水処理施設なんかいない」と、反対していた住民も、日立は自分達にいいことをしようとしてくれている、と理解してくれたのです。こうして住民の信頼を得ることができ、彼らは建設敷地内の治安を守る側へ変化し地域住民と一体となってプロジェクトを遂行出来ました。



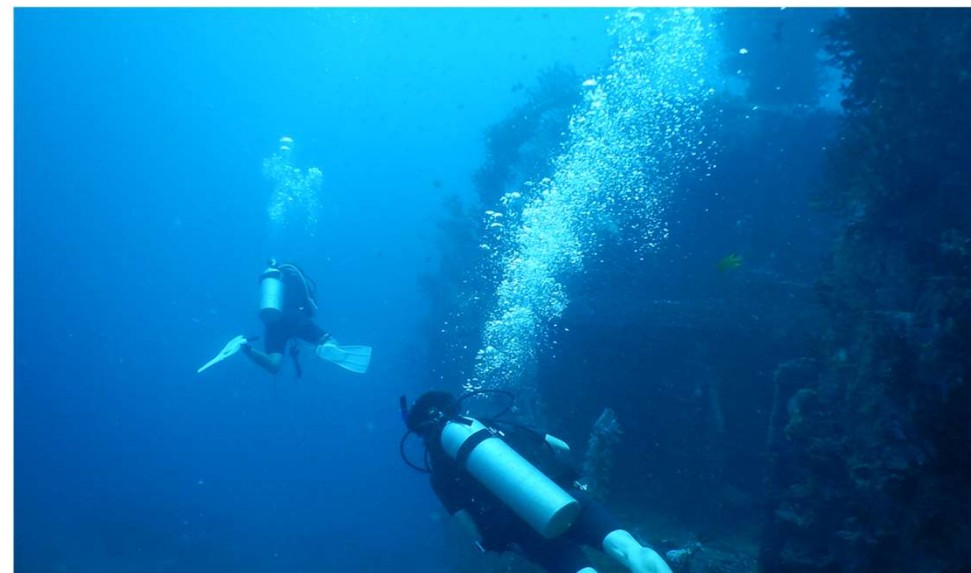
下水処理場がないところに、下水処理場を創り 運営していくことは大変なことです。
日立は、運営に必要な人員体制を顧客へ提案しました。
そこには、必要な資格や経験を記入し、新しく雇用する人材の条件を提案しています。



VISION -日立グループ・ビジョン

HITACHI
Inspire the Next

日立は、社会が直面する課題にイノベーションで答えます。
優れたチームワークとグローバル市場での豊富な経験によって、
活気あふれる世界をめざします。



➤ ボランティア活動による社会貢献。（清掃活動により綺麗な海を取り戻す）

緑の下の力持ちで、未来の子供たちへ安全で安心な地球を届ける

- 人の未来を、より安全で安心なものにするものか？
- 人に未来を提供し、それは便利で心地よいと感じるものか？
- 人の未来に、豊かさと健康を提供できるものか？



HITACHI
Inspire the Next